

## 業界トップ水準の給与に向けた取り組みを実施 中長期的に3年間の賃上げ

株式会社アマダ(神奈川県伊勢原市、代表取締役社長執行役員:山梨 貴昭)は、ベースアップと定期昇給による賃金の引き上げを実施します。業界トップ水準の給与に向けて、2023年6月度給与から、3年間で持続的な引き上げを計画しています。

世界的な人手不足を背景に、中長期的に優秀な人材の確保に加え、さらなる企業の成長に向けた社員一人ひとりの一層の意欲向上につながる取り組みとして、賃金の引き上げを行います。さらに、柔軟な働き方ができるようなインフラの整備、教育研修の費用や時間の引き上げといった人材の多様化・育成に向けた投資を並行しておこなうことで、人材面の強化を図り成長戦略を推進します。

初年度のベースアップは一般職に対して平均4%の月額14,000円、定期昇給と合わせて平均6%の賃上げになります。ベースアップの対象範囲は一般職に加え、経営職(20,000円/月額)も含まれます。これに伴い、新入社員の初任給も引き上げを行い、2024年4月入社者の初任給は大学院卒260,200円、大学卒242,200円になります。さらに、契約社員やパート社員もベースアップを実施いたします。

一般職のベースアップは、10年間断続的に行ってききましたが、過去最高の大幅な改定になります。経営職に関しては2014年以来、9年ぶり、契約社員やパート社員は2015年以来8年ぶりの改定になります。

アマダグループは、2023年2月に開設した「Amada Global Innovation Center(AGIC)」を基軸に、お客さまとともにさらなる挑戦と改革を実現します。社員一人ひとりが、お客さまの課題解決を通じて社会の想いをかなえ、新しい未来をともに創る企業として貢献してまいります。

※本リリースに記載されている情報は、予告なしに変更される可能性があります。予めご了承ください。

以上